

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価(総合)
学校運営方針	児童生徒一人一人のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、世を照らす光としての自立と社会参加を実現することを通して、共生社会の形成に向けた特別支援教育の発展に貢献する。			
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
	I 一貫した継続性のある適切な指導と必要な支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な実態把握の実施と連動した各種計画の作成・活用 主体性・生活性・課題性を大切に授業改善・研究の充実 主体的な活動を促し自己指導能力を育む指導の充実 		
	II 自立と社会参加につながる地域社会に開かれた教育課程の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育資源と連携した取組の推進 卒業後の進路先開拓の推進 交流及び共同学習の推進 		
	III 共生社会の形成に向けた特別支援教育の拠点としての環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 域内の小・中学校等への支援の充実 特別支援教育推進ネットワークによる専門性の相互補完 		
	IV 安全・安心で信頼される学校体制と持続可能な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制の強化 積極的な情報発信の推進 合理的で効率のよい校務運営の整理 		
	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
小学部	【みつめる】生活に必要なことが分かり、自分から取り組む力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 担任間で実態把握シートを作成し、個の実態に合った課題を設定する。 下学年代替の題材を基に、段階に合わせて単元指導計画を作成する。 		
	【かかわる】教師や友達との関わりを楽しみながら、意欲的に学習活動に取り組む力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 学部会において、児童の理解や対応などについて共通理解を図る。〔隔週〕 学年グループ会において、学習計画などについて共通理解を図る。〔週1回〕 		
	【挑戦する】学校生活に見通しをもち、自信をもって行動しようする力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所の写真や絵カード、カレンダー、ICT教材などのデータを共有する。 学部内で統一したスケジュールボードや単元カレンダーを作成する。 		
中学部	【みつめる】主体的に学習に取り組む、自己理解を深めることのできる生徒を育む。	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる視点からの自己理解を深めるために、新しい発見や気付きのある学習活動の工夫を行う。〔1単元1以上〕 主体性・生活性・課題性を大切に授業を行い、意欲的に活動できる場面を設定する。 		
	【かかわる】よりよい人間関係構築のために、自分の思いや考えを相手に伝えることができる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> 人やものとかかわることができるように、課題解決的な活動、集団活動を仕組む。〔毎日〕 すべての教科・領域において自己選択・自己決定する場面を設定する。 		
	【挑戦する】目標に向かって最後まで諦めず、小さな「できる」を増やすことができる生徒を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 実態把握を定期的に行い、目標設定の見直しや指導内容の改善を行う。〔月1回〕 生徒の長所や短所を把握し、「褒める」「鍛える」「励ます」指導を行う。 		
高等部	【みつめる】主体的に清掃をする態度を育てる。(生徒)	<ul style="list-style-type: none"> 職業(クリーン)、昼の清掃活動、日常生活の指導、学級活動を通して、自主的に清掃活動を行うよう指導する。 個々に応じた清掃用の用具(教材)を準備し、適切かどうか定期的に検討を行う。〔学期1回程度〕 		
	【かかわる】地域社会を意識できる態度を育てる。(生徒)	<ul style="list-style-type: none"> 教科・職業・特別活動・進路活動を通して、地域社会・地場産業等と活動の連携を図る。〔年間5件以上〕 進路開拓を念頭に、近隣の情報収集にあたる。〔適宜〕 		
	【挑戦する】生徒がより「わかりやすい」授業展開を行う。(職員)	<ul style="list-style-type: none"> ICTを効果的に活用した授業実践を行う。〔高等部全教職員〕 日常的にデータの共有などを行い、アプリケーションの活用方法などの検討会を行う。〔学期1回〕 		
必ある貫した支援の継続性の実との	I 連動した各種計画の作成・活用に努める。(教務企画課)	<ul style="list-style-type: none"> 実態把握として標準化スケールや学習段階表等を活用し、段階を評価する。〔学期1回〕 教育支援計画、個別の指導計画、通知表の連動した様式を作成・活用する。〔年2回〕 		
	児童生徒の能力・適性に合わせたICT環境の充実に努める。(情報マネジメント課)	<ul style="list-style-type: none"> 分掌・学部・教科で作成した教育コンテンツの共有システムを構築する。〔1学期中〕 		
	集団活動での自主性と自己指導能力の強化を図る。(生徒指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒会役員が企画・運営する全校集会を実施する。〔年8回(始業式・終業式は除く)〕 異学年での活動を主とした委員会活動を実施する。〔月1回〕 規範意識育成事業講演会を実施する。〔年2回〕 		

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

I 必要不可欠な支援の継続性の実	校内の危険箇所を職員や児童生徒に周知し、児童生徒が自ら安全を意識して過ごせるように努める。(保健環境課)	校内の安全点検を実施し、危険箇所を把握する。〔月1回〕 掲示物等を活用し、危険箇所を全体に周知することで安全を促す。〔学期1回〕					
	校内における研修推進体制の構築と充実を図る。(研修研究課)	学校研究に関する授業計画・改善、情報共有を行うための指導打合せの時間を課で運営する。〔イテンタイム月1回〕 学校研究に関する研修会を行う。〔年2回〕					
	学校研究を通して、道徳科についての指導の充実に努める。(研修研究課)	学校研究で複数の教員と検討した内容の道徳科の授業を実施する。〔100%実施〕 道徳科の指導について職員に対する意識調査を行う。〔年2回〕					
	II 地域にかかわる活動の充実を図る。(教務企画課)	地域と連携した活動を計画・実施する。〔学期1回〕 地域社会に開かれた教育課程の検討を行う。〔2ヶ月に1回〕					
たが自 教育地と 課域社 程社会 の会参 充に加 実開に かつ れな	新しいかたちの親しみやすいPTAの組織作りに努める。(庶務広報課)	親しみやすい名称・活動にするために、メール等を用いたアンケート調査を行う。〔年3回〕 PTA主催の保護者研修会実施に向けて、出欠の確認、当日の段取り調整に努める。〔年1回以上〕					
	児童生徒の実態や保護者のニーズに応えることができる進路開拓の充実を図る。(キャリア教育課)	情報収集を行いながら進路開拓を実施する。〔随時〕 保護者や外部機関と密に連携した進路開拓委員会を企画し開催する。〔学期1回〕					
	キャリア教育の視点を取り入れた一貫した継続性のある進路の手引きの作成に努める。(キャリア教育課)	進路の手引きを作成し見直しを図ることで改善に努める。〔学期1回〕 発達段階を考慮した進路学習で用いるキャリアパスポート作成の検討会議を実施する。〔学期1回〕					
	III 掘向 点共 けた 生特 し社 会支 の支 環援 境教 成 整育 に備 の	ICT活用を推進し校務の迅速化・効率化を図る。(情報マネジメント課)	ソフトウェアやハードウェアに関する職員研修の計画・実施に努める〔年10回〕 ICTに関する「トラブル対応マニュアル」を作成する。〔1学期中〕				
IV 教 学安 育校 全 環体 ・境 制安 の と心 整持 信 可 頼 能 さ れ る	系島市内の小・中・高等学校等への支援の充実を図る。(支援連携課)	「地域支援連携室」内に教材・教具、文献を収集する。〔教材・教具20個以上、文献100冊以上〕 本校教職員及び系島市内の小中学校教職員が教育相談、ケース会議で活用する地域支援ネットワークマップを作成し、内容を検討する。〔年2回〕 教育相談案内をHP等で周知する。〔1学期中〕					
	特別支援教育推進ネットワークによる専門性の相互補完に努める。(支援連携課)	教育相談の円滑な実施のため、福岡聴覚特別支援学校との引継ぎや情報交換等を実施する。〔年3回〕 教育相談の校内担当者間でケース会議を実施する。〔月1回〕					
	本校の教育活動について広く発信し、学校ホームページの充実を図る。(庶務広報課)	児童生徒の学校生活の様子を随時更新する。〔学期に3回以上〕 見て分かりやすいホームページになるように、全体レイアウト・発信する内容の再検討を定期的に行う。〔年3回以上〕					
	危機管理マニュアルの改善と訓練等による周知を図る。(生徒指導課)	危機管理マニュアルの見直しを実施する。〔学期1回〕 地震火災避難訓練、不審者対策訓練を実施する。〔各年間2回〕 夏期休業期間中に職員研修を実施する。〔年1回〕					
安全な通学のために関係者との連携を図る。(生徒指導課)	運転手、添乗員とバス連絡会を実施する。〔学期1回〕 バス乗車指導を実施する。〔学期1回〕 単独通学生安全指導を実施する。〔学期1回〕						
異物混入や食物アレルギー、感染症対策などを含む安全な保健・給食の実施に努める。(保健環境課)	全職員で共有すべき事例については、翌日までにOneNote等で共有を行う。〔達成率100%〕 緊急時対応シミュレーションを実施し、全職員で共通理解を図る。〔年1回〕						

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見

--